

第68回日本生物地理学会年次大会プログラム

会場：立教大学 14号館 D201号室（ミニシンポジウム，総会：タッカーホール）
東京都豊島区西池袋 3-34-1（JR池袋駅から東武側出口 or 地下道エチカ 歩7分）

大会第1日目 4月13日（土）

11:00-12:00 評議員会（評議員のみ） 立教大学太刀川記念館 1F

14:00 タッカーホールにて受付開始
総合司会：山田 一之（日本生物地理学会）

15:00-15:10 開会の挨拶 森中 定治（日本生物地理学会会長）

ミニシンポジウム「次世代にどのような社会を贈るのか？」

主催 日本生物地理学会 共催 立教大学

オーガナイザー：森中 定治，三中 信宏

趣旨説明 - 風土・経済・人間 日本生物地理学会会長 森中 定治

講演1 持続可能な地球社会のつくり方 ―グローバル・タックスの可能性を中心に―
横浜市立大学学術院国際総合科学群教授・国際総合科学部国際都市学系長
上村 雅彦

講演2 ふるさとのかけがえのなさを未来へ繋ぐ
作家・翻訳家 池田 香代子

総合質疑 村上 雅彦，池田 香代子
司会 森中 定治，三中 信宏

17:30-17:50 学会総会 司会：蒲生 康重
三中 信宏（農環研/東京大・院・農学生命科学），陰山 大輔（農業資源研・昆虫微生物），山田 一之（日本生物地理学会），蒲生 康重（進化生物学研）

18:30- 懇親会

大会第2日目 4月13日（日）

一般発表

座長：陰山 大輔（(独)農業生物資源研究所）

10:30-11:00 水汚染に由来する新興的寄生虫病はワンヘルスの警鐘
○浅川 満彦（酪農学園大・獣医学群 獣医学類 感染・病理兼野生動物医学センター）

11:00-11:30 静岡県に定着した外来爬虫類の現状と対策
○加藤 英明（静岡大学・創造科学技術大学院）

11:30-12:00 南部マダガスカルの乾生林の現状
○橋詰 二三夫, 蒲生 康重 ((財) 進化生物学研究所)

12:00-13:00 (昼食)

座長:尾形 比呂哉(東京大学総合研究博物館)

13:00-13:30 日本列島に生息するクスサンの生物地理
○町島 佳幸 (日本蛾類学会, matizima@vesta.ocn.ne.jp)

13:30-14:00 共生細菌ボルバキアによって変わる昆虫の性~遺伝子発現から行動まで~
○陰山 大輔, 成田 聡子 ((独) 農業生物資源研究所)

14:00-14:30 ニホントカゲ・ヒガシニホントカゲの遺伝的変異と歴史生物地理
○岡本 卓, 疋田 努 (京大・理・動物)

14:30-15:00 (休憩)

15:00-

シンポジウム

「チェーン・ツリー・ネットワーク：体系学における データ可視化と情報グラフィクス」

オーガナイザー： 三中 信宏 ((独) 農業環境技術研究所/東京大学・院・農学生命科学)

15:00-15:20 趣旨説明
三中 信宏 ((独) 農業環境技術研究所/東京大学・院・農学生命科学)

15:20-15:50 分類と系統：多様性の視覚化と体系化のための図像の役割について
三中 信宏 ((独) 農業環境技術研究所/東京大学・院・農学生命科学)

15:50-16:20 ヴィジュアル言語としての系統樹のグラフィック・デザイン性
杉山 久仁彦 (DWH主催/多摩美術大学造形表現学部非常勤講師)

16:20-16:50 歴史言語学における系統樹(とその他の)モデル
菊澤 律子 (国立民族学博物館/総合研究大学院大学)

16:50-17:20 バイオインフォマティクスからの系統樹可視化
岩崎 渉 (東京大学大気海洋研究所)

17:20- 総合質疑

17:50- 閉会の辞 山田 一之 (日本生物地理学会)